

全国47都道府県における高齢者の要介護未認定期間と 標準化死亡比

タケダ シュンペイ
武田 俊平*

目的 死亡数および介護保険における要介護等認定者数を基に、全国47都道府県における65歳の平均余命および要介護未認定期間を算出し、65歳以上の標準化死亡比（以下、SMR）等との関係を分析する。

方法 平均余命は Chiang 法により、要介護未認定期間は Sullivan 法により算出し、平均余命－要介護未認定期間＝要介護期間とした。SMR は、全国を 1 として算出した。各指標間の関係については、Spearman の順位相関係数を算出して分析した。

結果 (1)2004年における全国47都道府県の65歳要介護未認定期間は、男では、最長が長野県の16.72年、最短が青森県の14.32年であり、女では、最長が山梨県の19.18年、最短が大阪府の16.47年だった。

(2)要介護未認定期間に関しては、男女とも、平均余命と正に相関し、要介護期間と SMR と負に相関した。平均余命に関しては、男女とも、SMR と負に相関し、女では、その他、要介護期間と正に相関した。

結論 (1)2004年における全国47都道府県の65歳要介護未認定期間は、男では、長野県が最長、青森県が最短であり、女では、山梨県が最長、大阪府が最短だった。

(2)男女とも、要介護未認定期間が平均余命と正に、SMR と負に相関したことは、要介護未認定期間の延伸にとって、死亡率の低下が重要と考えられる。また、男女とも、要介護未認定期間が要介護期間と負に相関したことは、要介護未認定期間の延伸にとって、要介護有病率の低下が重要と考えられる。さらに、女では、平均余命が要介護期間と正に相関したことは、平均余命が長いと要介護期間も長いと考えられる。これは、女では、要介護の原因が脳卒中のような致死的な疾患だけでなく、痴呆や骨関節疾患などの非致死的な疾患も多いためであろう。

Key words : 要介護未認定期間, 標準化死亡比 (SMR), 都道府県, 介護保険

* 仙台市若林区保健福祉センター
連絡先：〒984-8601 仙台市若林区保春院前丁 3-1
仙台市若林区保健福祉センター 武田俊平